

## &lt;白金標準、目先のピークアウトを受けた修正波動へ・・・&gt;



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、8月1日の銅に対する関税の内容を発表し、前日までにすべての銅製品に 50%の関税が課せられるとの思惑が外れ、輸入される銅線や銅管など一定の加工工程を終えた銅の半製品や銅を多く含むケーブルや電気部品などの製品などに 50%の関税を課すとする文書に署名している。そのためプラチナに対する関税思惑が外れ、NY 市場で銅価格が 18%下落を示す中で、NY 白金も 7%の下落を見せており。特に 16 日以降、NY マーカンタイル取引所の指定倉庫の在庫量が 8.5 トンから 31 日には 16.8 トンまで増加しており、関税を狙ったロンドン市場から NY 市場へ移動させた動きに思える。特に今回の発表でロンドン市場のプラチナ・リースレートは 20%から一挙に 10%以下まで低下しており、市場におけるひつ迫感が緩和している。そのため NY マーカンタイル取引所のプラチナ指定倉庫の 16.8 トンまで増加した在庫が今後減少する可能性は高く、在庫と価格の相関関係が存在するため、1250 ドルを割り込むまで NY 白金は下落する可能性は否めない。特に白金標準先物も 6319 円から先週末には 5686 円まで下落しており、関税の支えを無くした相場だけに 5553 円に向けた下値模索に注意が必要と思われる。

## &lt;テクニカル&gt;

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** は上昇している。また RCI では **短期** が下げながら、**長期** は上昇している。特に週足が **10 週移動平均線** を下回るなど、修正の域に思え戻り売りには注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,880,000 円(2025 年 8 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2025 年 8 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引に

についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間: 平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あつせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター

<https://www.nisshokyo.or.jp>